

2014年5月15日

「第9回 ロハスデザイン大賞 2014 新宿御苑展」、「第25回 エコライフフェア 2014」に出展
「小エネ（ローエネ）な暮らし」を“Fun to Share ハウス”で体感！

YKK AP株式会社（社長：堀 秀充、本社：東京都千代田区、資本金：100億円）は、「第9回 ロハスデザイン大賞 2014 新宿御苑展（主催：一般社団法人ロハスクラブ）」および「第25回 エコライフフェア 2014（主催：環境省）」内に設置される「Fun to Share ハウス」に協賛し「小エネ（ローエネ）な暮らし」を提案します。

近年のエネルギー問題に対する取り組みにおいて、住宅の省エネ性能が特に重要視されています。YKK APは、樹脂窓を通じて日本のエネルギーの使用量を少なくし、小さなエネルギーで快適に暮らす「小エネ（ローエネ）な暮らし」の普及・啓蒙活動に注力しています。今回のイベントに設置する“Fun to Share ハウス”では、世界トップクラスの断熱性能を実現した高性能トリプルガラス樹脂窓「APW430」を採用。さらに窓まわりには、光や熱のエネルギーを調整できるエクステリア商品との組み合わせや、効率的な換気を実現し窓の開閉も楽しくなる「ウインドウキャッチ連窓」などにより、自然のエネルギーを上手に活用するアクティブな暮らしを提案します。

※「“Fun to Share” ハウス」の詳細については添付資料をご参照ください。

会場の取材も可能ですので、ご希望の方は弊社 広報担当までご連絡願います。

■開催概要

(1) 第9回ロハスデザイン大賞 2014 新宿御苑展

主催：一般社団法人ロハスクラブ
共催：環境省
制作運営：月刊ソトコト／孫の力
会期：5月16日（金）～18日（日）
9:00～16:30（入場は16:00まで）
会場：国民公園 新宿御苑
（入場料 大人200円/小・中学生50円）
公式サイト：<http://www.lohasclub.jp/>



“Fun to Share”
完成イメージ

(2) 第25回エコライフフェア 2014

主催：環境省
日時：6月7日（土）11:00～17:00 ・ 6月8日（日）10:00～17:00
テーマ：未来をかえる暮らしの提案
会場：都立代々木公園（ケヤキ並木、イベント広場）
公式サイト：<http://www.ecolifefair.go.jp/>

（報道関係者からのお問い合わせ先）

YKK AP株式会社 広報室 長沼・法月（のりづき）
TEL：03-3864-2321 FAX：03-3864-2290 E-mail：k_ykkap@ykkap.co.jp

ロハスクラブ
YKK AP
エヌ・シー・エヌ

Fun to Share ハウス



www.lohasclub.jp



Lohas Design Award/2014

Fun to Shareハウスって？

「ロハスデザイン大賞」で人気の、提案型のエコハウス。今年のテーマは、「Fun to Share ハウス」です。環境省が呼びかける「Fun to Share / みんなでシェアして、低炭素社会へ」が体感できる“家づくり・暮らしづくりの知恵”をふんだんに取り入れて、装いも新たに今年も登場です。陽射しや風通しなど、自然の恵みを十分に活用できる耐震性にも優れたパッシブハウスを基本コンセプトに、低炭素社会につながる様々な知恵と技術を集めました。エコであることはもちろん、人や家族にとっても健康なお家・暮らしをあなたのご家庭でも実践してみませんか？



そもそも

Fun to Shareって？

「Fun to Share」。それは、最新の知恵をみんなで楽しくシェアしながら、低炭素社会をつくっていくよ！ という合言葉。目標に向けてガマンしながら必死に頑張るのではなく、毎日楽しく暮らしながら、豊かな低炭素社会をつくらうという環境省の新しいキャンペーンです。

みんなでシェアして、低炭素社会へ。http://funtoshare.env.go.jp をご覧ください。

Fun to Share

検索



主催
LOHAS club
一般社団法人ロハスクラブ

共催
環境省
環境省 (Fun to Share)

制作
YKK AP
YKK AP株式会社

NCN
株式会社エヌ・シー・エヌ

株式会社良品計画
一般社団法人適材適所の会
TOTO株式会社
大建工業株式会社
銘建工業株式会社



ソーシャル&エコ・マガジン
月刊『ソトコト』
http://www.sotokoto.net/
毎月5日発売・定価 823 円

■催事名称：第9回ロハスデザイン大賞2014・新宿御苑展 ■主催：一般社団法人ロハスクラブ
■共催：環境省 (Fun to Share) ■特別協賛：YKK AP 株式会社 / 株式会社良品計画 / 株式会社エヌ・シー・エヌ / サラヤ株式会社 ■制作協力：一般財団法人 国民公園協会 / 東京おもちゃ美術館 / 認定 NPO 法人日本グッド・トイ委員会 / 隣人祭り / 日本支部 / 一般社団法人適材適所の会 / NPO 法人農家のこせがれネットワーク ■協賛：キリン株式会社 / 王子ネピア株式会社 / ユナイテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング / エイビーピー・ジャパン株式会社 / 公益財団法人ふるさと島根定住財団 / 豊島株式会社 ■後援：J-WAVE 81.3FM ■制作運営：月刊ソトコト / 孫の力
illustration by Takumi Sugiyama design by Maya Miyamoto

小エネ(ローエネ)な暮らしをつくる、光、熱、風、水。

窓まわりで、光、熱を調整。

心地いいローエネな生活を送るには、ウチとソトをつなぐ中間領域、ベランダや庭、庇や屋根の役割も見逃せません。例えばグリーンカーテン(②)。夏場の強い日差しを遮蔽し、また植物への水遣りによるゆっくりとした水の蒸散効果は涼やかな風となって私たちの暮らしを潤してくれるでしょう。そこがサンルームなら、冬には蓄熱効果も得ることができます。四季の日差しの角度に合わせて調整できるルーバー(③)も便利なツールです。季節を楽しみながら日々の暮らしを快適に過ごす。エクステリアへのこだわりもローエネハウス大切なポイントですね。

最新の技術や知恵を持ち寄って (シェアして)、楽しみながら低炭素社会を目指す「Fun to Share」。これからの新しい日本の家・住空間づくりも、様々な技術や知識を持ち寄るのが大切です。自然の恵みを自然エネルギーとして上手に使い、つくりあげるパッシブハウス。今回、YKK APは窓や窓まわりの工夫で自然のチカラを取り入れ、ローエネハウスかつ健康で快適な暮らしを実現する「Fun to Shareハウス」を提案します。光、熱、風、水。私たちの身の回りにある自然と一緒に暮らしていく。そんなパッシブな暮らしは、楽しく快適で、やがて人々を自然とアクティブにしてくれます。それが「Fun to Shareハウス」です。

窓の開閉で、風を取り込む。

ローエネ家と暮らしを考えると、最も大切なのは窓。世界トップレベルの断熱性能を実現した樹脂窓APW430(①)なら、夏は屋外の熱気を遮断し、冬は室内の暖気を逃がしません。これにより冷暖房のエネルギー抑制はもちろん、結露(④)の抑制につながりシックハウスの要因となるダニやカビの発生を防ぐことにも。ローエネは健康にも良いのです。窓の性能が高いということは、窓を開ける楽しさにもつながります。大きな窓を開ければ、心地よい風がお部屋いっぱい。寒くなったら高断熱の窓を閉めます。窓の開閉は、四季のある日本ならではの楽しみ。パッシブな窓は、暮らしをアクティブにしてくれるのです。

壁材とトイレで、上手に水とつきあう。

「水」は私たちが生きていくうえで欠かせませんが、空気中の水分は時としてやっかい……。それを上手にコントロールするのが、快適な暮らしのポイントです。家の中の湿った空気は行き場がなくなると、結露(④)やカビが発生すること。そんなときは、高断熱の窓(①)とともに調湿性のある壁材(⑤)などで空気中の水分を調整しましょう。さらに節水も。私たちは、大量の水を使って生活しています。キッチンや洗面所、バスやトイレなど。例えば、トイレの水は衛生面で欠かせませんが、節水トイレ(⑥)を選べば地域の自然環境保全にも貢献することができます。さらに、上水や下水が水を運ぶ際に使用する電気エネルギーの削減にもつながるのです。



① 高性能トリプルガラス樹脂窓 APW430 (YKK AP)



② エスパリア (YKK AP)



③ 日射遮蔽スライディングオープンルーバー (YKK AP)



④ アルミサッシの結露の様子



⑤ 調湿壁材さらりあ〜と (大建工業)



⑥ タンクレストイレ ネオレスト (TOTO)

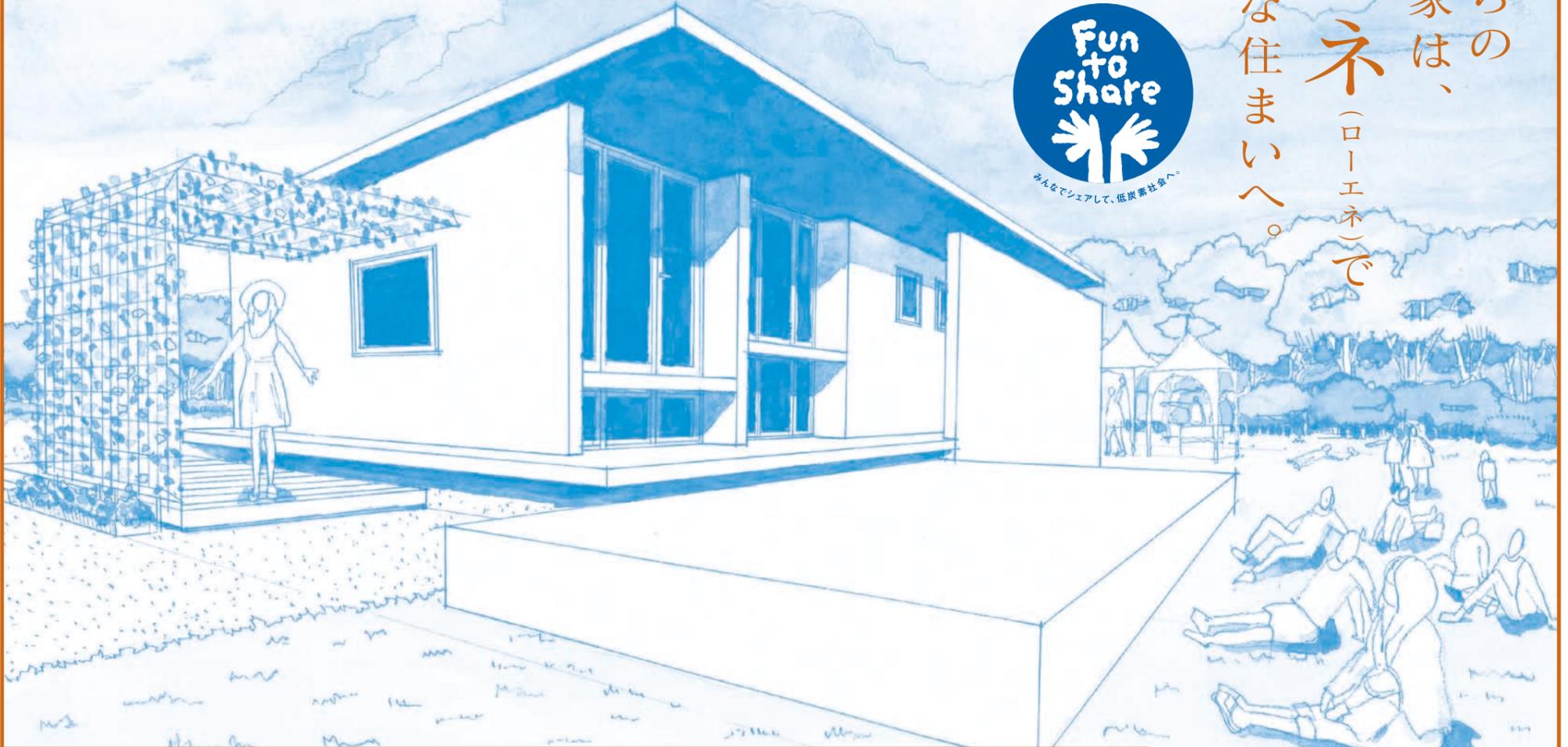
TOTO
DAIKEN
YKK AP

光、熱、風、水といった自然のエネルギーを上手に使ったエコハウス「Fun to Shareハウス」。エネルギーの消費量が小さい「小エネ（ローエネ）な暮らし」は、快適でいながら、持続可能な節電や省エネ、地球温暖化の抑制に貢献します。また断熱性や風通しを高めることは、カビなどの原因

となる結露を防ぐ効果も。つまり「ローエネな暮らし」は、家族の健康や、お家そのものの寿命を延ばす、健康的な暮らしにもつながるのです。TOTO、DAIKEN、YKK APは「グリーンリモデル」を推進します。「グリーンリモデル」は、「健

康配慮」、「長もち住宅」、「CO₂削減」という3つの視点で住まいを診断。これからは安心して暮らせる、人と地球にやさしい家づくりをご提案します。「Fun to Shareハウス」に込められた「小エネ（ローエネ）な暮らし」を体感してください。

これからの日本の家は、**小エネ**（ローエネ）で健康的な住まいへ。

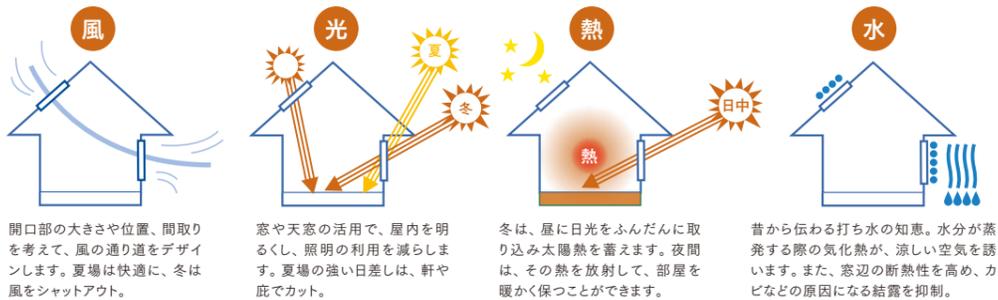


パッシブハウスって？

「風」「光」「熱」「水」と仲良く暮らす家です。

パッシブハウスは、住宅そのものを設計することで、発電機や省エネ家電に頼らず、快適で地球に優しい生活を可能にする家づくりの方法（パッシブデザイン）で建てられた家のことです。建物を囲む自然環境には、暖かさ、涼しさ、明るさなど、心地良さを得られる要素はたくさんあります。そんな本質的な心地良さを追求した家づくりを考えると、必然的に自然のチカラを活用した「パッシブ」（＝受け身）な建物にいきつづけます。

“ローエネな暮らし”の知恵

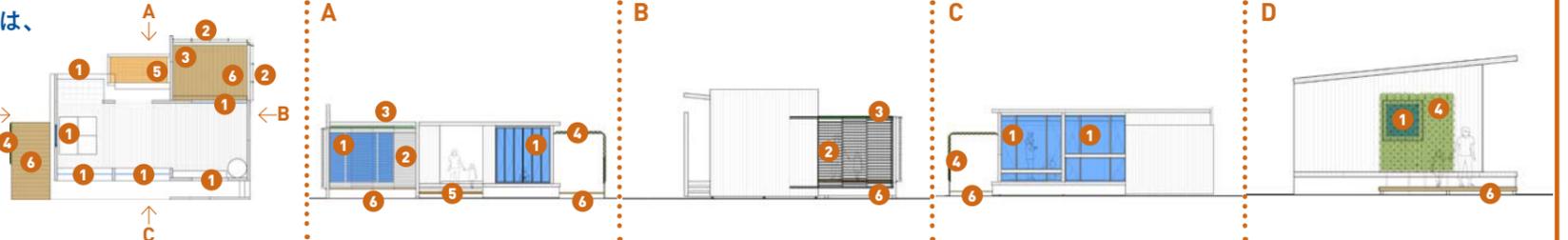


“ローエネな暮らし”のベネフィット



「Fun to Shareハウス」には、どんな「窓」が？

窓や窓まわりがもつ役割はさまざま。光や風、熱や水をコントロールして“小エネ（ローエネ）な暮らし”を実現してくれる、「Fun to Shareハウス」の「窓」や「窓辺」がどうつくられているか、ご覧ください。



1 APW430

高性能トリプルガラスを用いた高断熱の樹脂窓。住まいを包むと快適性が高まり、健康的に暮らすことができます。また結露しにくいので、カビなどを防ぐことができ、家の耐久性を高めます。

下図参照



2 オープンルーバー

開口部の日射を遮蔽する、上吊り引戸型式のルーバー。夏季は、室内照度を保ちながら、高度の高い太陽からの日射を遮蔽します。また冬季はオープンルーバーをしまい、日射取得を行います。

下図参照



3 アウターシェード

昔からある日本の夏の知恵、「よしず」や「すだれ」を現代風にリデザイン。窓の外で強い日射熱を遮蔽し、室内温度の上昇を抑え、エアコンなどによる電気使用量の低減に効果を発揮します。



4 エスパリア

つる性植物を絡ませ、緑豊かな庭まわりをつくと同時に、植物が作り出す美しい日陰や風の流れを、窓から眺める楽しみを生み出します。また屋内の温熱環境にも大きく貢献します。



5 グリーンブリック

保水材と骨材を混ぜ合わせた粘土を焼成し、中央部に4個の孔をもたせた陶磁器ブロック。雨水などを保水させて、その気化熱の作用により涼化誘引効果を実現します。



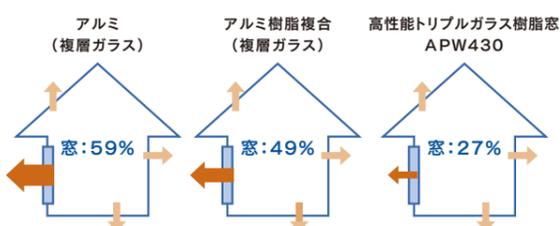
6 リウッドデッキ200

森林保全と廃プラスチックの再利用を考え、木粉とプラスチックを主原料に開発されました。有害物質が発生しにくく、また天然木に近い感触をもちながら、耐久性も高い素材です。



どこで小エネ？

熱は窓から逃げていくんです……。それなら、窓の性能を良くしよう！



左の図は、窓から逃げる熱損失割合の比較。家庭の窓を、アルミ（複層ガラス）から、アルミの約1000分の1の熱の伝わり方の樹脂窓であるAPW430に換えるだけで、窓から逃げていく熱をおおよそ7割削減できます。

外の風を取り入れたいけど、強い日射が……。それなら、日差しをコントロールする方法を2つ紹介！



高い位置から強い日差しが入り込む夏には、オープンルーバー②のルーバー陣子を閉めて直射日光を遮蔽。そして、窓障子を開けて風を取り入れ、小エネを実現します。

暑い夏を快適に過ごすには、暑さの原因である強い日差しを家の中に入れないのがポイント。窓の外にアウターシェード③を取り付けると、日差しを64%カット（複層ガラスの場合）。エアコンの稼働時間を減らすことができます。